

む こ の し ょ う

武庫庄

学校便り

1月号

尼崎市立武庫庄小学校

令和3年1月8日

NO. 10



1日1日を大切に

新年あけましておめでとうございます。

冬休みの間に、新型コロナウイルス感染症が落ち着く事を願っておりました。けれども、拡大の方向は止まる事を知らないぐらいの状況です。皆様は、年末年始をどのようにお過ごしでしたか。

私事です。年末に左足を骨折しました。ただ今ギプスと松葉杖で自分の身体を支えています。今まで骨折をした子の補助をすることはありましたが、自分がこの状況になってみてわかったことがあります。周りに迷惑をかけたくないから少しでも急いで歩こうとしますが、なかなか同じようには歩けません。この時の歯がゆい気持ちや、一緒に行動する人のちょっとしたしぐさで勝手に感じる寂しさのような感情は、ぴったりと同じ気持ちになることは困難ですが、相手を思いちょっとした心遣いがほっと感じられます…。そんな武庫庄小学校でありたいと思い全職員で教育活動に取り組んでいきます。今年も、どうぞ、よろしくお願いいたします。

冬休みの間に増加し続けた新型コロナウイルス感染症の陽性者数には驚かされるばかりです。自分の命をどのようにして守るのかまた、もしも感染した場合、どうすれば周囲への感染を最小限にできるのかは、私たち大人の行動にかかっています。現在、体調不良でも何か言われるからとPCR検査を受けたくないと考える方がおられると聞きます。PCR検査受検後、結果待ちの状態を張り詰めた思いで待っておられるとも聞いております。お互いに相手を想いながら生活をしていくためにも、PCR検査を受けることになりましたらすぐに学校まで連絡をください。また、同居家族が受検された場合は、子ども達の登校を控えていただくようご理解ご協力をお願いいたします。重ねて、自分の命を守るために、「マスク着用の徹底」にもご理解をいただきお子様への声かけをお願いいたします。

1年間のまとめの3学期が始まりました。大切な日々ですが、学校での学習ができる状態で登校し、少しでも調子が悪い時はゆっくり休むという選択も必要です。そのためには、欠席する子ども達やそのご家族への温かい眼差しが今まで以上に向けられるよう「チーム武庫庄」で乗り切りましょう。

キャリア教育講演会

～卒業生から6年生へメッセージをいただきました～

本校の卒業生で、現在追手門学院大学で教鞭を執っておられる上林功准教授が、夢のある建築の世界を専門としておられ、先日、6年生のキャリア教育の1コマとしてお話をしに来ていただきました。広島市民球場を、家族や仲間に応援しに行きたくなる新しいスタイルの球場に変身させた方です。「むこんしょまつり」の体験や武庫庄での学びが今の自分の根底にあると大変興味深いお話でした。50周年の時に、是非お越しいただきたいですね。